

第406回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成21年11月4日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野放送会議室

3. 委員の出席

○委員総数 9名

○出席委員数 9名

○出席委員の氏名(敬称略・委員は50音順)

委員長 宮本 忠長

副委員長 中村 重一

副委員長 松田 幸子

委員 大橋 俊夫

委員 小出 貞之

委員 小松 正俊

委員 塚田 芳樹

委員 中條 智子

委員 丸山 仁也

4. 放送事業者側出席者

相崎 由松(代表取締役社長)

瀬木 潔(代表取締役副社長)

堀 眞一(代表取締役専務・報道局制作局担当)

関 義仁(取締役編成局・番組審議会担当)

松田 敏和(編成局長)

宮尾 哲雄(報道局長)

飯 鳶 憲彦(編成局編成部長兼視聴者室長)

滝崎 愛(報道局報道部)

山口 慶吾(番組審議会事務局長)

5. 議題

NBS月曜スペシャル

「農業はおもしろいぞ!!～エルの桃づくり日記～」

10月19日(月)午後7:00～7:54放送

6. 番組の内容

農家の高齢化や後継者不足が深刻な中で、長野市の特産「川中島白桃」を守ろうと栽培に取り組む定年退職者のグループ「風とみどりの会」の姿を、グループのアイドル犬「エル」の視線で綴った。

7. 審議の概要

- ・食糧の低自給率、高齢化、担い手不足など農業が抱える厳しい問題の提起をしながら、愛犬エルの登場で、家族で楽しめるような肩肘張らないいい番組になった。
- ・エルという犬を通して、「川中島白桃」という桃を作る作業がいかに大変かということと、高齢化や荒廃農地の増加など日本の農業の問題をどうカバーしていくかということを経糸・横糸という形で示そうという企画は素晴らしいと感じた。ただ、農業によって生き生きとした老後を過ごしたいという感じなのか、桃作りの大変さと面白さなのか。あるいは農業問題に一提言を示そうとしているのか。盛りだくさんで焦点がぼけてしまった点が気になった。
- ・労働集約的な桃作りのピークの半年間にわたって、グループの人たちの動きを季節の変化とともに、よく追いかけていた。
- ・高級ブランドの「川中島白桃」にしてこうなのかという、農業の深刻な状況を改めて知らされた。
- ・アイドルの犬を使って軽やかに作ろうという番組作りの意図のもとに、農業問題をテーマに借りて高齢化社会の人の生き方を考えさせるという意味で成功した番組だと思う。
- ・桃の価格がどうなっているのかや、グループの人々の年間稼働日数、農業機械はどう維持しているのかなど、経済的な側面が全く分からなかった。
- ・面白い手法を使って楽しい番組になっていた。現代農業の問題についてもバランスよく触れられて、質の高い面白い番組だった。
- ・年金をもらいながらという経済的な事情があるからこそできるという側面はあるが、農業の楽しさが伝わったいい番組だった。
- ・エルの登場意義というのが何となく甘かった。もう少しグループの中での犬の存在意義を表現できていれば面白かった。